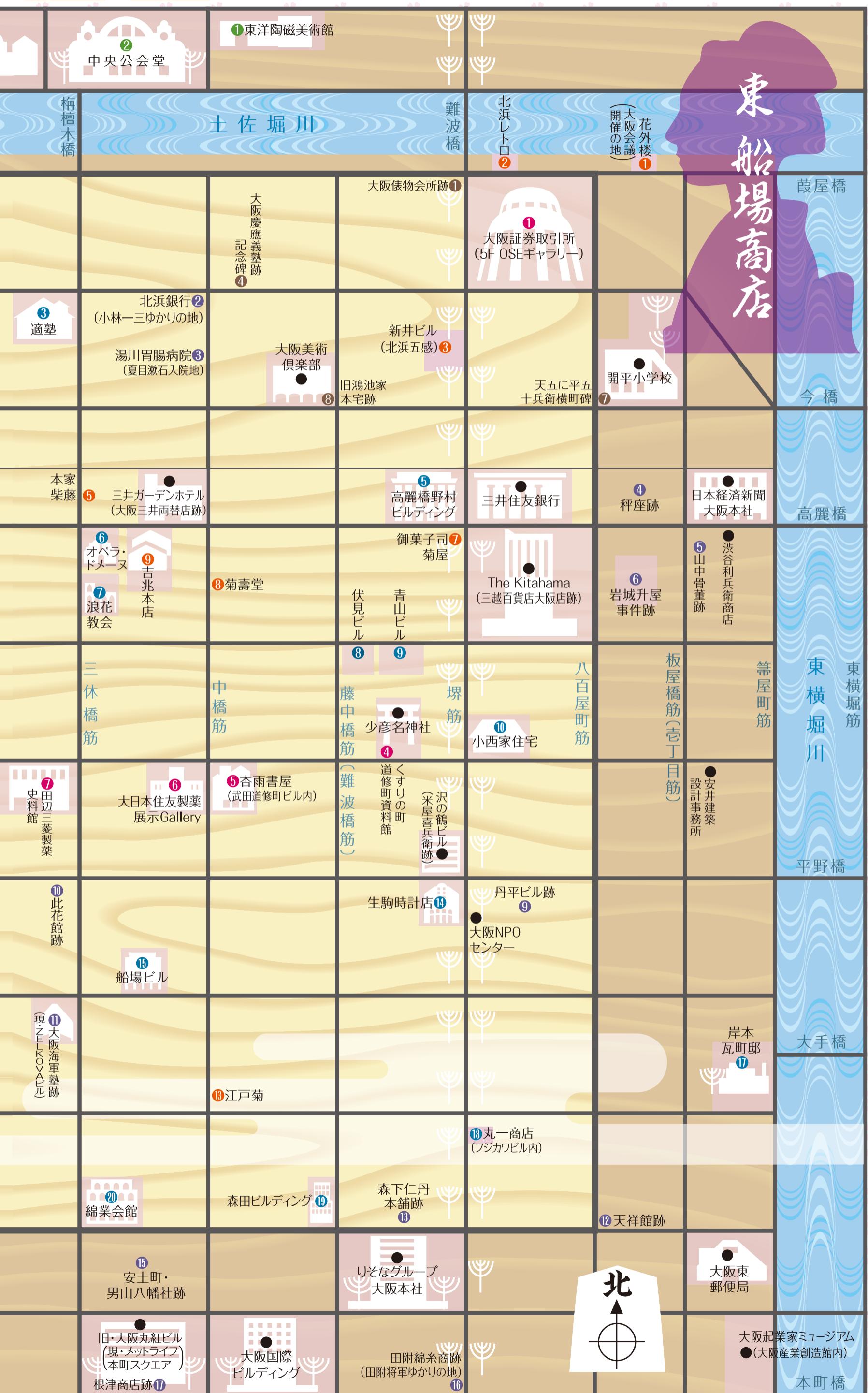


将棋

北船場将棋とは? 観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者の陸奥賢が考案しました。船場の碁盤目状の町割の特徴を将棋盤に見立てた遊びです。マップ片手に船場観光するもよし。将棋として遊ぶもよし。いつでも、どこでも、だれでも自由に使えるオープンソースで、公式サイト(<https://kitasenba-syogi.jimdofree.com/>)からダウンロードして下さい。

*2019年10月作成。まちの情報が古くなることもあります、ご容赦下さい。※デザイン:アクエリアス 森良之



鞠本町で営業中。⑨丹平ビル跡▶戦後ビルの名建築として知られています。⑩此花館跡▶上方落語の一派・三友派の寄席跡です。⑪大阪海軍墾跡▶勝海舟が寓居した専称寺跡です。海軍墾が開かれ、坂本龍馬も学びました。西郷隆盛と海舟が初めて会ったのもここです。⑫天祥館跡▶「四柱推命」は天祥館易者・松本義亮が考案しました。⑬森下仁丹跡▶明治26年(1893)創業。現在は玉造に移転。⑭北尾新聞舗跡▶儒学者・北尾墨香の一族が経営しました。⑮安土町・男山八幡社跡▶江戸時代に安土町民が勤請。阿部王子神社に合祀され、社殿は現在、葛之葉稻荷神社本殿です。⑯田附綿糸商跡▶田附政次郎は天才相場師で「田附將軍」と呼ばされました。⑰根津商店跡▶根津清太郎は谷崎潤一郎のバトランで根津の妻の松子が『細雪』の四姉妹のモデルの1人です。松子はのちに根津と別れて谷崎と結婚しました。⑱伊藤萬跡▶戦前は「天下のイトマン」と呼ばれましたが、戦後、イトマン事件で経営破綻。

■ 船場の味

船場の名店・老舗を紹介。①花外樓▶天保元年(1831)創業。店名は木戸孝允の命名で大阪会議の舞台にもなりました(店前に記念碑あり)。②北浜レトロ▶紅茶専門店。煉瓦造りの英國風建物も人気です。③北浜五感▶パティスリー。喫茶も楽しめます。建築(新井ビル)も有名です。④鶴屋八幡▶元禄15年(1702)創業の老舗和菓子屋。⑤本家柴藤▶享保年間に將軍・吉宗の勧めで開業した饅料理屋です。⑥神宗▶天明元年(1781)創業の昆布屋。⑦御菓子司菊屋▶天正13年(1585)、豊臣秀長の御用菓子司として創業。⑧菊壽堂▶天保年間創業。名物「高麗餅」は8代目松本幸四郎の命名です。⑨吉兆本店▶創業者・湯木貞一は日本料理業者として史上初の文化功労者に。⑩御菓子司高岡福信▶寛永元年(1624)創業。初代は秀吉の御膳預りを勤め、5代目は京・禁裏御用も務めました。⑪吉野羹▶天保12年(1841)創業。「箱寿司」の発祥として有名です。⑫美々卯本店▶安永5年(1776)創業。堺の料亭・耳卯楼がルーツで「うどんすき」が有名です。⑬江戸菊▶大正3年(1914)創業のすき焼き店です。⑭平岡珈琲店▶大正10年(1921)創業。船場を代表する名喫茶です。

■ 船場の見所

船場のギャラリー、ミュージアムなどです。①OSEギャラリー(大阪取引所5階)▶堂島米市場や大阪取引所の歴史がわかります。②アイ・スポット(淀屋橋odono2階)▶船場のまちづくり情報の発信拠点です。③除痘館記念資料館(緒方ビル4階)▶徐痘館関連資料を展示。④くすりの道修町資料館(少彦名神社社務所ビル3階)▶道修町の歴史がわかります。⑤杏雨書林(武田道修町ビル1階)▶武田薬品の企業ミュージアム。⑥大日本住友製薬展示ギャラリー▶ビル外側からガラス越しに閲覧できます。⑦田辺三菱製薬史料館▶要予約。田辺三菱製薬の歴史がわかります。⑧塩野義製薬本社展示コーナー▶1階口ヒーにて展示。⑨湯木美術館▶「吉兆」創業者・湯木貞一の収集した茶道具などが展示されています。有料。⑩御靈神社▶北船場の氏神です。年間を通じてさまざまな祭や神事が行われます。⑪北御堂ミュージアム▶御堂さんの鐘が聞こえるところ、瓦が見えるところに店を構えるのが船場商人の憧れでした。北御堂の歴史資料が展示され、素晴らしい内容で必見です。